豊かな社会の構築に貢献しています。

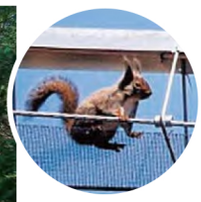
本 社

2023 Hertz FIM トライアル世界選手権 第3戦大成ロテック日本グランプリに協賛

「トライアル」とは高低差や傾斜、障害物が複雑に設定されたコースを専用のバイクで乗り越えながら進み、いかに足をつかずにゴールへたどり着けるかという技術を競うモータースポーツです。当社は、2023年5月に「カーボンニュートラルイベントの実現」をテーマに掲げて行われた本大会に、冠スポンサーとして協賛しました。

アニマルパスウェイと野生生物の会 啓発アニメ制作に協賛

「アニマルパスウェイ」とは、文字通り「動物の通り道」です。分断された森林をつなぐ、樹上性の野生生物の道「アニマルパスウェイ」の設置および普及と、森林の生物多様性、保全活動の支援を行う同会の趣旨に賛同し、「ロードキルや横断障害から動物たちを守る歩道橋の啓発アニメ制作プロジェクト」に協賛しました。



北海道支社　2022年6月

近隣小学校 グラウンド整備

札幌工事事務所では地域貢献活動の一環として、近隣小学校で5年以上にもわたり、塩化カルシウム散布によるグラウンド環境整備に取り組んでいます。本整備には保水力をアップし砂埃を防止する効果があるため、毎年運動会前に実施しています。今回も当社社員や協力会社社員を含む8名が参加し、70袋分の塩化カルシウムを手作業で散布しました。

東関東支社　毎月第1水曜日

新町をきれいにする会

東関東支社では毎月1回、テナントビルの皆さまと地域の清掃活動を行っております。千葉市を訪れる方々に「きれいな街」と思っていただけるように思いを込めて清掃しています。

北信越支社　2022年11月

使用済み切手運動

北信越支社では、使用済み切手を集めて日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）に送る活動を行っています。得られた収益はアジアやアフリカの看護学生の教科書代や授業料・実習費になり、国際保健医療協力活動に役立てられます。今後も継続して取り組み、困難の中にある人々の健康と命を守る手助けをしていきたいと思います。

使用済み切手運動へのご協力をありがとうございます

お願い　使用済み切手類はお手元に保管してください

この度、JOCSでは、新型コロナウイルスが流行する中、切手を取扱うボランティアさんの健康を考えるため、2021年3月末でボランティア活動を休止することにしました。そのため、使用済み切手類の受け付けを休止しております。ご協力お願いいたします。
最新情報はhttps://www.jocs.or.jp/support/stamp をご覧ください。

JOCSは1960年に設立された、日本の医療協力NGOの草分け的存在です。1964年に国内で最初に使用済み切手を集めはじめました。寄付していただいた使用済み切手の売上を貴重なひとつとして、海外で現地医療協力を行なっています。医師や看護師の派遣、講学会、現地の医療と公衆衛生のネットを活動の柱としています。
2014年度は15,717件の使用済み切手運動へのご協力をいただき、換金額は2,320万円になりました。ご協力ありがとうございました。

提携から寄せられた使用済み切手は、このように役立っています。

使用済み切手約5,000枚(約1.8キロ)でタンザニアの結核患者1人の1年分の治療費になります。

使用済み切手約12,000枚(約2.4キロ)でインドネシアの結核研修学校で1カ月分の授業料になります。

使用済み切手約20,000枚(約4.9キロ)でウガンダの助産師学校で1人の半年分の奨学金になります。

お問い合わせ
〒165-0051 豊島区西早稲田1-3-18-51 JOCS切手部宛
FAX：03-3232-6922 stamp@jocs.or.jp www.jocs.or.jp

九州支社　2022年10月18日～2022年10月21日

近隣小学校 社会科見学会

玄海アスコンでは、毎年近隣小学校の児童を招待し、体験学習会を開催しています。今年度は「つないでいこう、地球のいのち」をテーマに、延べ350人の児童が参加しました。身近な生活の中で一人ひとりが物を大切にしてリサイクル意識を持つことの重要性を教える授業内容で、当工場が取り組んでいるエコ活動も紹介しました。